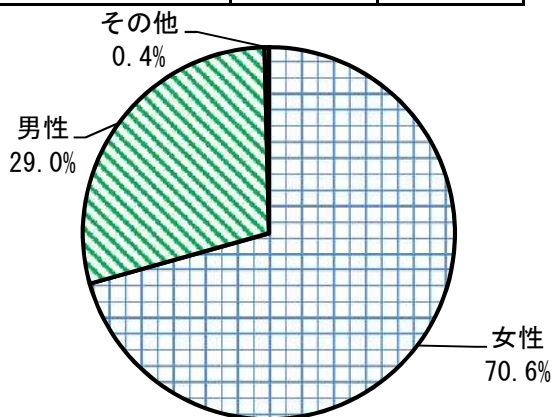
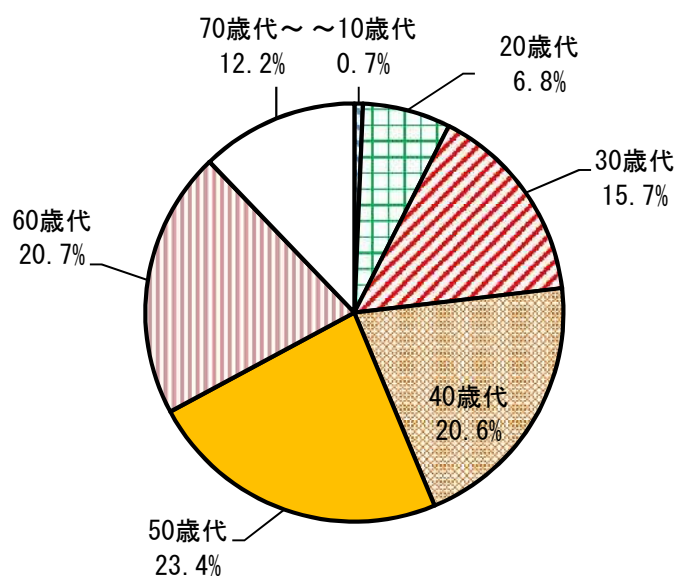


テーマ	男女共同参画社会について
調査期間	令和7年6月25日から令和7年7月1日
担当課	スポーツ市民局男女平等参画推進課
回答者数	1,059 人
属性	

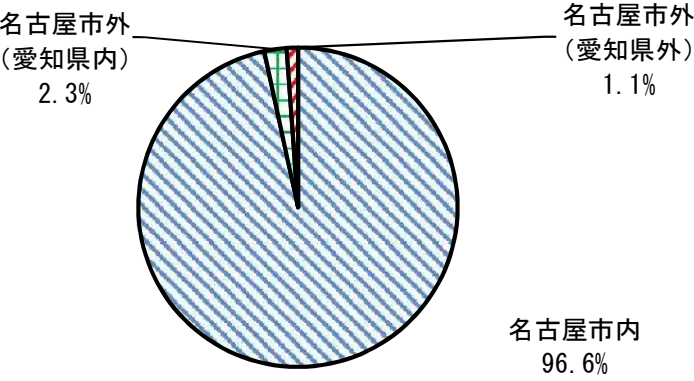
性別	回答数	比率
女性	748	70.6%
男性	307	29.0%
その他	4	0.4%



年齢	回答数	比率
～10歳代	7	0.7%
20歳代	72	6.8%
30歳代	166	15.7%
40歳代	218	20.6%
50歳代	248	23.4%
60歳代	219	20.7%
70歳代～	129	12.2%



住居地	回答数	比率
名古屋市内	1,023	96.6%
名古屋市外（愛知県内）	24	2.3%
名古屋市外（愛知県外）	12	1.1%



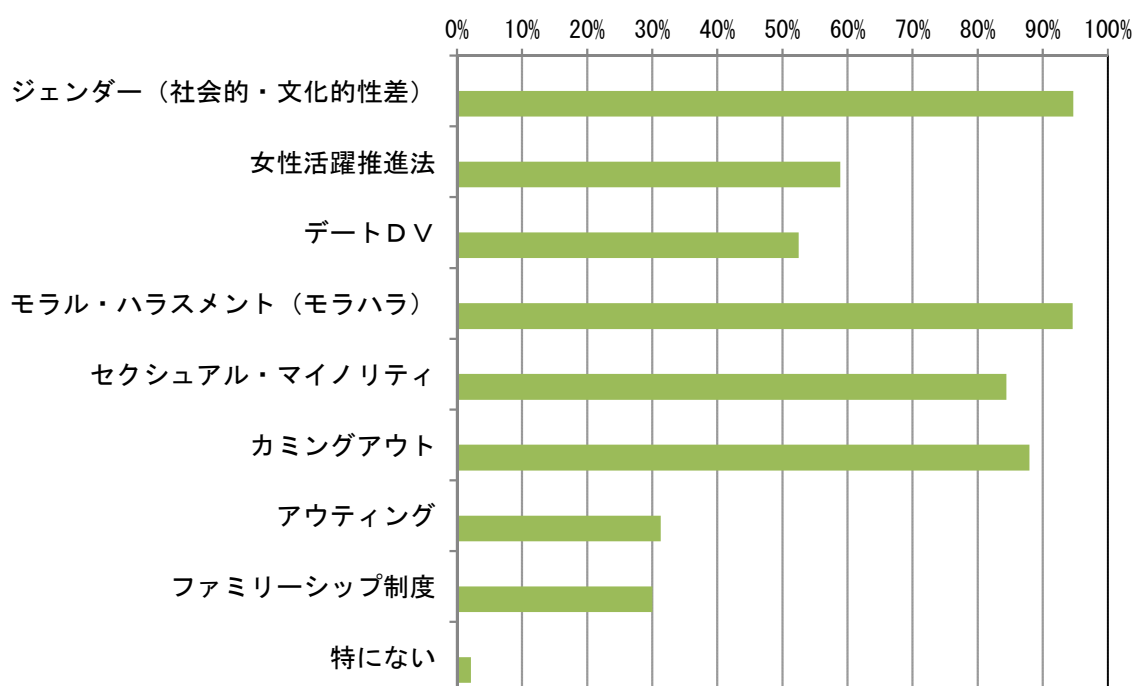
質問

複数回答

Q1. これらの言葉のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものは何ですか。（複数回答可）

回答者数 1,059 人

選択肢	回答数	比率
ジェンダー（社会的・文化的性差）	1,003	94.7%
女性活躍推進法	624	58.9%
デートＤＶ	556	52.5%
モラル・ハラスメント（モラハラ）	1,002	94.6%
セクシュアル・マイノリティ	894	84.4%
カミングアウト	932	88.0%
アウティング	332	31.4%
ファミリーシップ制度	318	30.0%
特にない	23	2.2%



質問

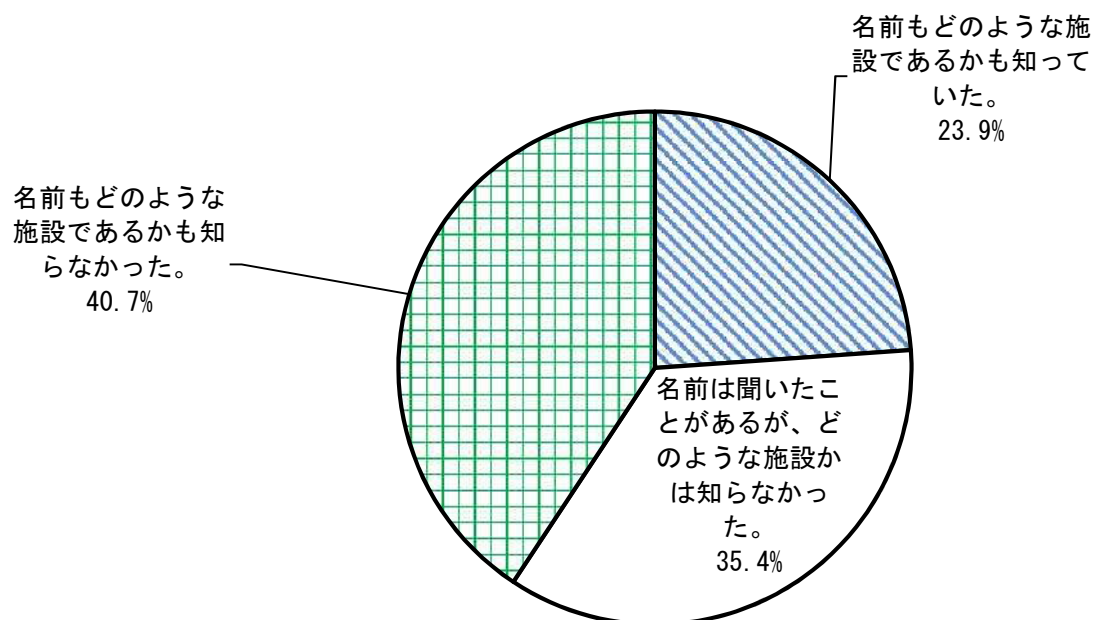
単一回答

Q2. 「イーブルなごや」は男女平等参画推進センターと女性会館の複合施設です。
イーブルなごやを知っていましたか？

回答者数

1,059 人

選択肢	回答数	比率
名前もどのような施設であるかも知っていた。	253	23.9%
名前は聞いたことがあるが、どのような施設かは知らなかった。	375	35.4%
名前もどのような施設であるかも知らなかった。	431	40.7%

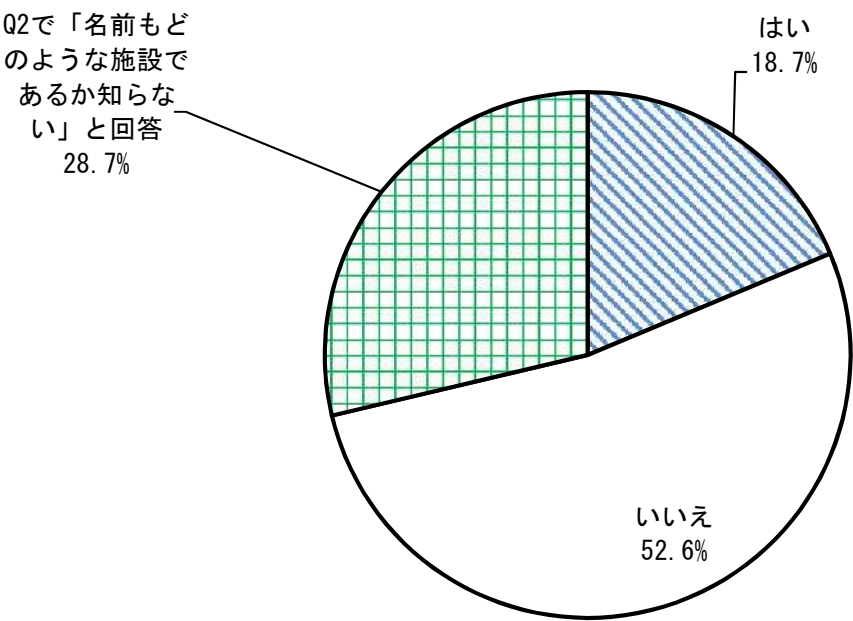


質問
単一回答

Q3. イーブルなごやを利用したことはありますか。

回答者数 1,059 人

選択肢	回答数	比率
はい	198	18.7%
いいえ	557	52.6%
Q2で「名前もどのような施設であるか知らない」と回答	304	28.7%



質問

Q4. 「男女共同参画社会」の実現に向けて、ご自由にご意見をお書きください。

【抜粋】

- 役職や社内ポストの就任に女性であることを理由に優先されるのは平等ではない。能力に応じた登用が必要。
- 逆差別があると、実力で勝ち取った女性も疑われてしまう。
- どちらにも出来ないことがあるのだから男女平等はあり得ない。お互いが助け合う男女共存であるべきだと思う。
- 男女平等ではなく、男女の特徴を区別してそれぞれの得意分野で活躍し、その活躍に対して公正な評価がされる社会を目指したい。
- 育児・家事をすべて女性が担い、仕事も男性と同じように求められるのは限界。保育園の整備や短時間勤務の制度が必要。
- 未だに子どもは女性が育てるものという意識が共働きでもある。行事や熱で休むのはいつも女性側。そもそもの日本の考え方の問題に加えて、男性側が休みにくい風土、仕事の多さが原因だと思う。それならそれでもっと時短勤務やテレワークなどに理解があればいいものを、それすら許されなくなってきたてきに働きづらい。
- 国会議員も、多くの企業の上層部も、男性の割合が圧倒的に多いので、女性よりも特に男性の意識改革が必要だと思う。
- 男性も真剣に考えてこそ実現するものだと思う。
- 幼い頃からの教育が必要。個々人の尊重や倫理感を育てるべき。男女ではなく個々人の能力であり個性が容認され尊重されなければならない。
- 男女がお互いの特性を理解して、協力しあえるためには、まずは教育が必要だと思う。小・中学生の子どもたちだけではなく、大人にこそ学ぶ機会を企画して欲しい。
- 女性リーダーを増やす事。そのためには管理職や決定者の女性割合をクォーター制で高める必要がある。